

子どもとの愛着関係を深めるには 指導のためのプログラム

<保育所>
0歳児

<展開例>

1. 指導の機会

保育所（保護者会）

2. 対象年齢

0歳児の保護者

3. ねらい

親子の触れ合い（スキンシップや声かけなど）を通して愛着関係が深まっていくことに気づく。

（1）題材 Step1 0歳児の成長の様子 子どもの心の育ちを大切に

（2）展開

時配	指導の流れ	指導上の留意点
5	1 導入 ○日常生活の中で、子どもとどんなふれあいを行っているかを発表してもらう。 ・日常の世話（だっこや授乳、おむつ替え）の時、どんな言葉かけをしていますか？ 子どもとの愛着関係を深めるには	○子どもとのふれあいの場面を考え、スキンシップや優しい言葉かけを行っている時のことを想像してもらう。 ○その場面での言葉かけや行動などについても簡単に触れてもらう。
15	2 展開 （1）0歳児の子どもと気持ちを通じあうと思った時はどんな時か、具体的な場面を発表しあう。 （2）感想を述べあう。	○4人組になり、遠慮なく意見を出せるような雰囲気づくりをする。 ○親の気づきを大切に受け止めながら、話し合いが進むよう助言する。 ○各グループから1～2名を指名し、話し合いの感想を発表してもらう。
10	3 まとめ （1）家庭教育支援資料「心の育ちを大切に！その1」を配布し、愛着関係の大切さに気づくように読み進める。 ・赤ちゃんの世話で大切なことは抱っこ・スキンシップ・声かけ・優しいまなざし・・・など お母さんの愛情である。 ・愛着関係は人間関係の基礎となる。 （2）家庭教育支援資料「Step1 0歳児の成長の様子」ワークシートをチェックし、今後の子育ての目安とする。	○赤ちゃんとの愛着関係ができると、赤ちゃんも安定して過ごせることや、親もゆとりを持って育児ができるようになることを補足説明する。 ○あくまでも発達を目安であることや発達には個人差のあることを話す。